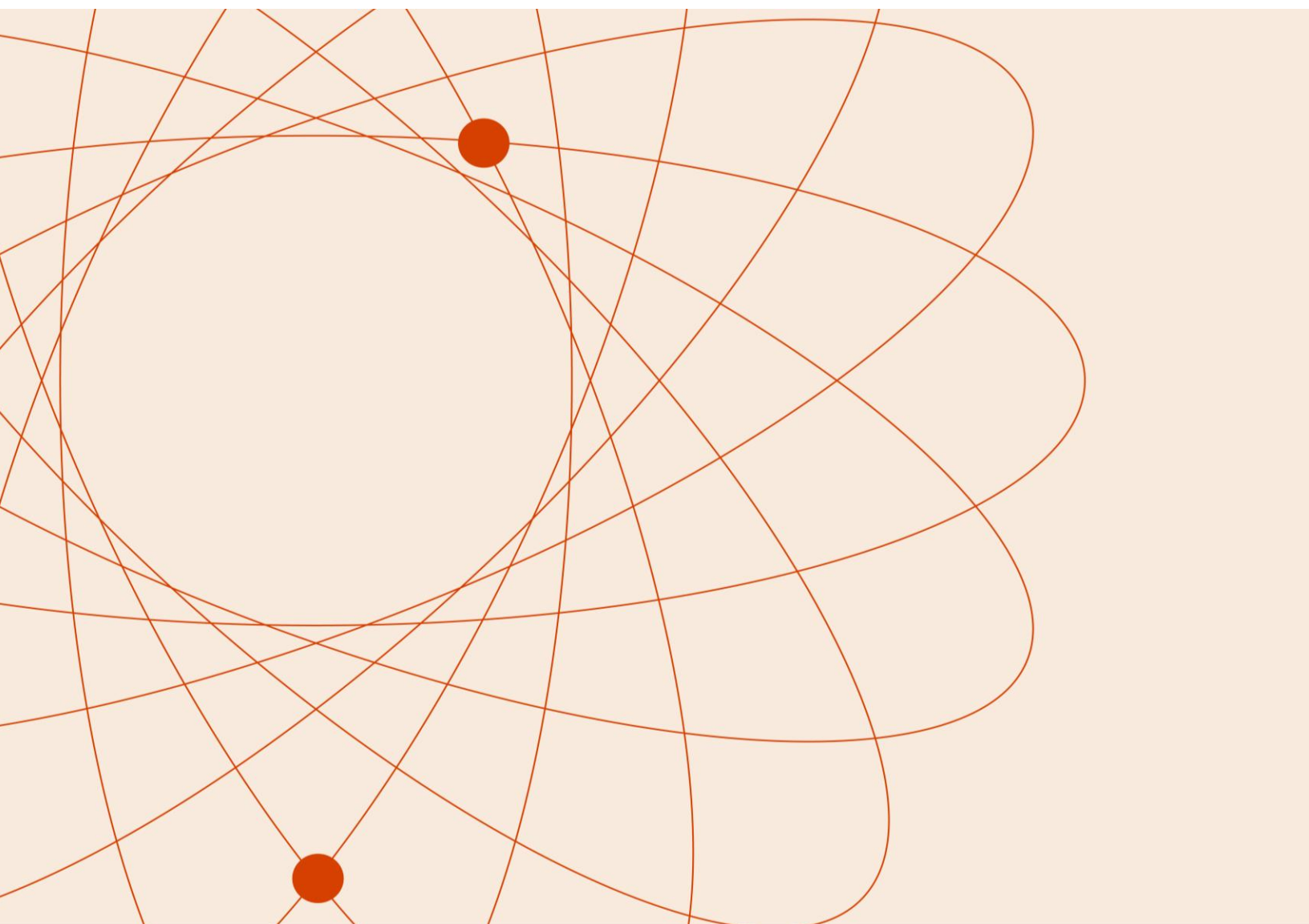


ONESOURCE Business Process Management (BPM) の可視化

ユーザーガイド

Version 26.3

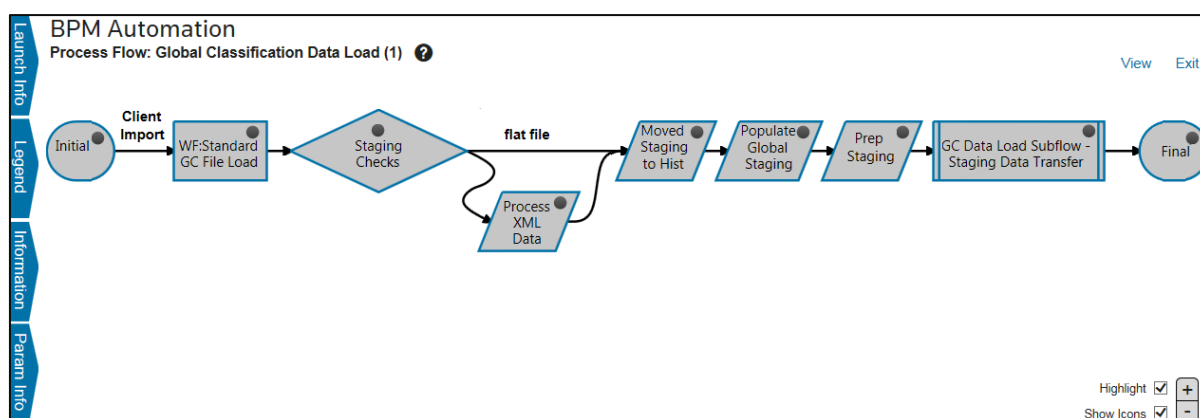


目次

概要.....	3
ステップ名.....	3
数字と日付スタンプ	3
ライトインジケータ	3
プロセスフローの利用	5
ヒント.....	5
スプレッドシートのアップロードの表示	6

概要

Business Process Management (BPM)の可視化フローは、ビジネスプロセスの高レベルの概要を提供するように設計されています。参考のため、以下に BPM の例を示します。実際の BPM フローは、それが表すビジネスプロセスによって下の例とは異なって見えることがあります。



プロセスフローは左から右に読み取られます。プロセスフローの各ステップは次の3つの情報に分けられます。

ステップ名

ステップ名には、指定のプロセスステップで行われる処理を記述します。この例としては、「ステージングデータの転送」ステップが挙げられます。

数字と日付スタンプ

各ステップの左上に、指定のプロセスステップ内で行われるアクションを表す数字や日付があります。

日付スタンプは、システムで処理されているトランザクションの経過時間を表します。

数字スタンプは、そのステップに割り当てる必要のあるトランザクションの合計数を表します。

ライトインジケータ

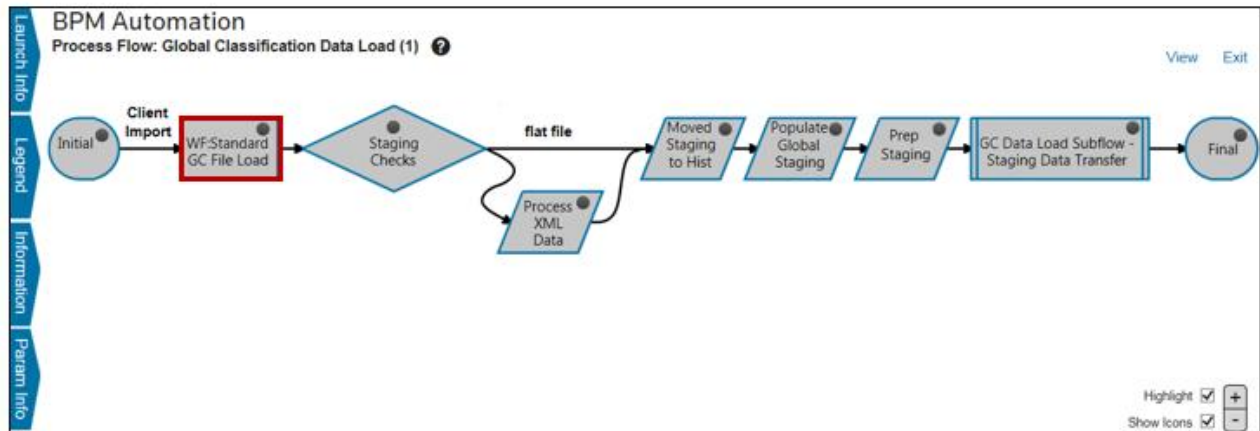
ライトインジケータとは、各プロセスステップの右上隅に記された点です。ライトインジケータは、以下の4色のいずれかになります。

黒	このステップは現在プロセスに含まれていない。
緑	このステップは完了済み。これ以上の措置は不要。
黄色	このステップは処理中。

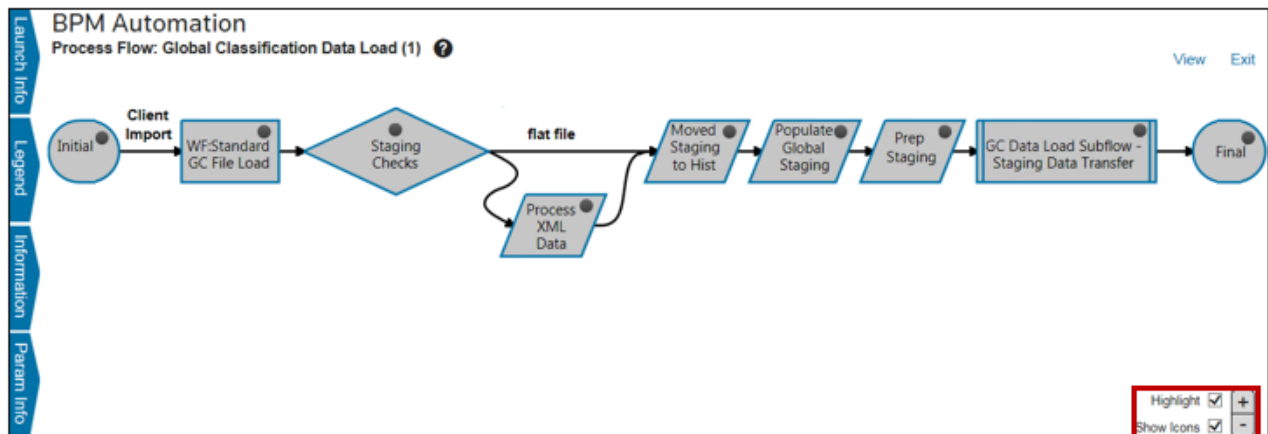
黒	このステップは現在プロセスに含まれていない。
赤	ただちに対処して問題を解決する必要がある。

プロセスフローの利用

プロセスステップをクリックすると、指定のプロセスステップに関連したシステムページにリダイレクトされます。たとえば、検証ボックスは、現在のデータを保持する検証を作成したことを示すページに、リダイレクトされます。



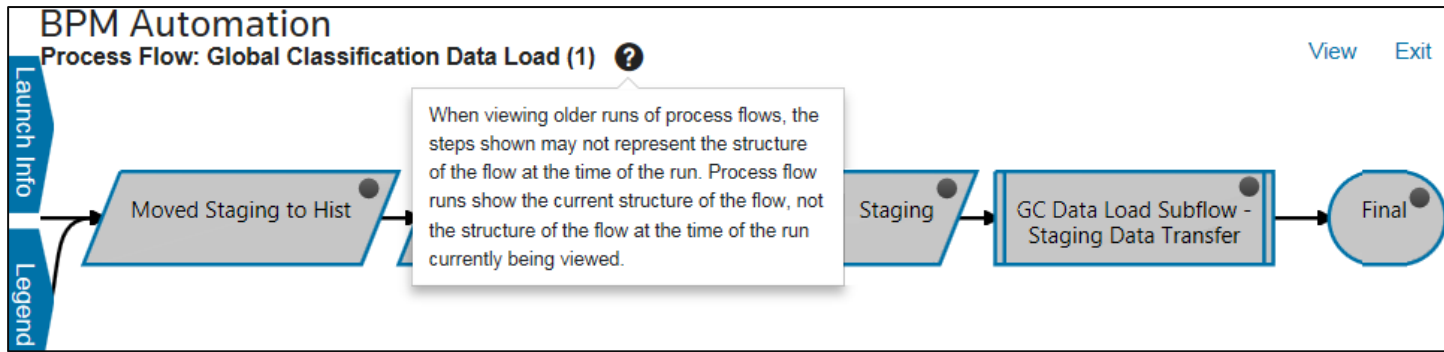
右下隅の [+] / [-] ボタンは、特定のプロセスフローでの拡大と縮小を調整するために使用できます。



拡大縮小するときにはフローを移動するには、左マウスボタンをクリックしたまま保持し、フローの任意の箇所で離します。

ヒント

一部のプロセスフローは、ツールチップを含むように設定できます。ツールチップは、カーソルを  アイコンの上に置いたときに現れる画面上の指示です。



スプレッドシートのアップロードの表示

スプレッドシートのアップロード画面では、システム内にアップロードされたスプレッドシートを確認できます。各ユーザーの可視性のレベルは、割り当てられているセキュリティグループによって決定されます。

管理者レベルのアクセス権を持つユーザーは、システム構成に基づき、自身が管理する追加グループのスプレッドシートのアップロードを閲覧できます。これにより、管理者は、自身の管理下にあるグループに関連する該当するすべてのアップロードを完全に把握できます。